アルウィンド専用電気錠

取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

■梱包明細書

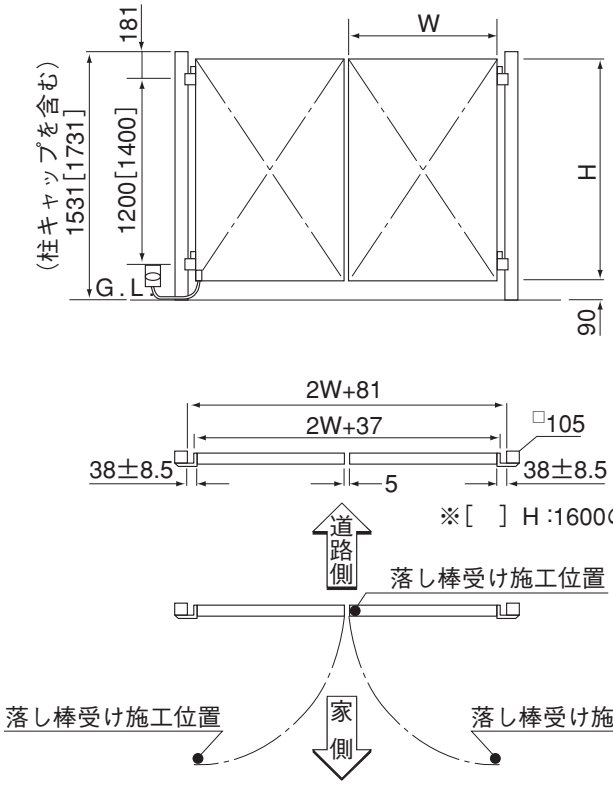
名　　称	員　数	
	片錠	両錠
片錠取付セット	1	—
両錠取付セット	—	1
キー	3	3
受け(ストライク)セット	1	1
戸当りスペーサー	—	1
戸当りスペーサー取付ネジ　M4×10サラ	—	1
ヒンジ（上）	1	2
ヒンジ（下）	1	2
ヒンジ裏板	2	4
ヒンジキャップ	2	4
ヒンジカバー	2	4
落し棒受け	1	3
1コ用スイッチボックス（通電金具用）	1	1
1コ用スイッチボックス（防滴プレート用）	1	1
防滴プレート	1	1

名　　称	員　数	
	片錠	両錠
施解錠操作押ボタン	1	1
ヒンジ取付ネジ M4×10トラス	8	16
戸当り取付ネジφ4×10トラス	5	5
スリーブ	4	4
取扱説明書※	1	1
取付説明書	1	1

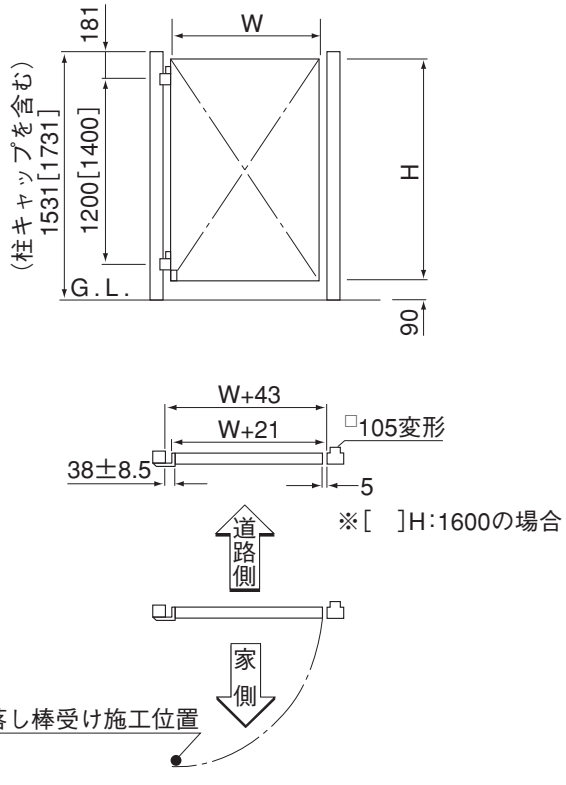
※電気錠掛扉本体の梱包に入っています。

1.施工寸法　※図はH14内開きを示します。

1-1 両開き



1-2 片開き



2. 錠本体の組付と勝手の変更

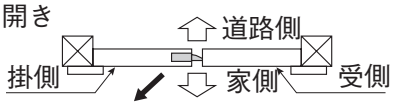
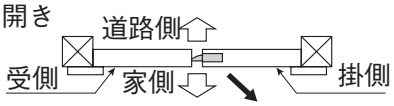
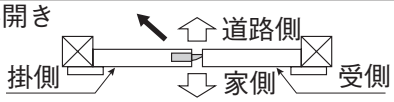
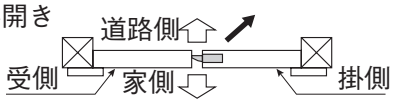
2-1 錠本体の組付け

錠本体をM4×10 ⊕サラネジで組付けてください。

2-2 勝手変更方法

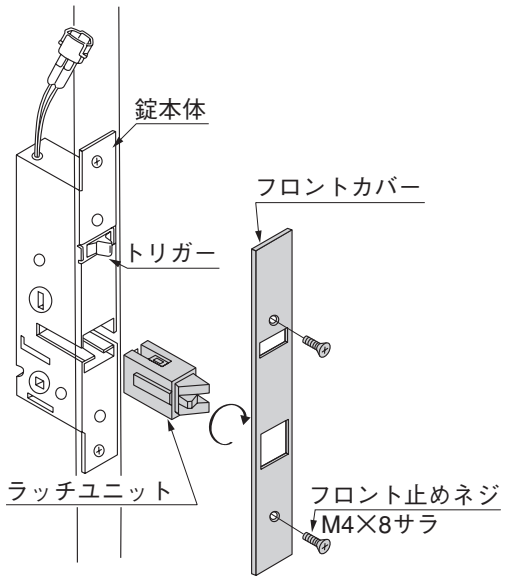
本セットは、右勝手・内開き用になっています。扉の開き勝手を変える場合には、下記の勝手変更表に従って錠本体の勝手およびストライクの勝手を変更して組付けてください。

下の表に従って、勝手を変更してください。

扉の勝手（図は扉を上から見た図です。）	勝手変更
右勝手内開き 	下記(B)に従って、ストライクを組み付けてください。
左勝手内開き 	下記(A)・(B)・(C)に従って、勝手を変更してください。
右勝手外開き 	下記(A)・(B)に従って、勝手を変更してください。
左勝手外開き 	下記(B)・(C)に従って、勝手を変更してください。

※外開きで180˚開けたい場合は柱の裏面を道路側に施工してください。

（A）錠本体の組付け・変更



①フロント止めネジ（M4×⊕サラ）をゆるめ、フロントカバーをはずしてください。

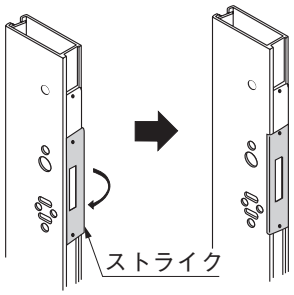
＜注意＞

●ラッチユニットを落とさない様に注意してください。

②ラッチを抜き取り、ラッチを反転させて差し込んでください。

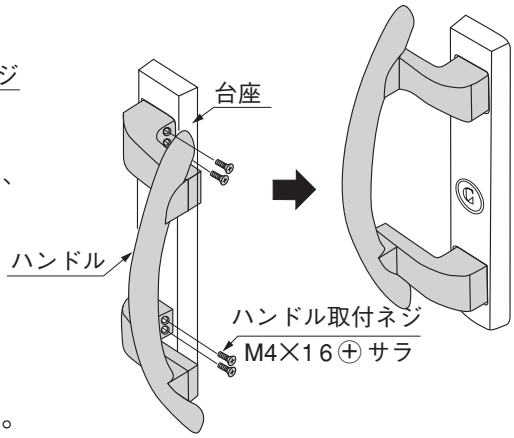
③再びフロントカバーを取付けてください。

（B）ストライクの組付け・変更



両開きの場合はストライクを180˚回転させて、開きを合わせてください。

（C）ハンドル部の変更

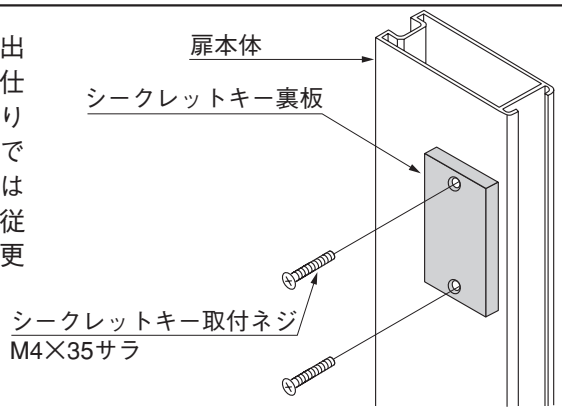


ハンドル取付ネジ(M4×16⊕サラ)をはずし、ハンドル部を180˚回転させて再び台座に取り付けてください。

A343_200209A

3. 電気錠掛扉の勝手の変更

電気錠掛扉は出荷時、右勝手仕様になっております。左勝手で使用する場合は右記の手順に従って、勝手変更してください。

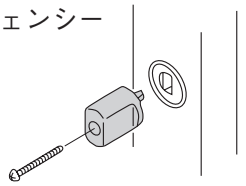


①シークレットキー（M4×35⊕サラ）をはずし、シークレットキー裏蓋を取りはずします。
②シークレットキー扉本体の加工穴の中を通して、反対側にもってきます。
③再びシークレットキー裏蓋を取付けます。
＜注意＞
●加工穴の切断面で手や指をけがしない様注意してください。

4. 錠の勝手の変更

4-1 両開き

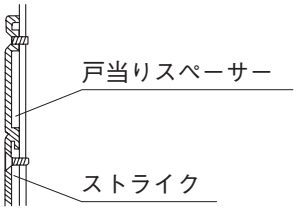
エマージェンシーへの変更



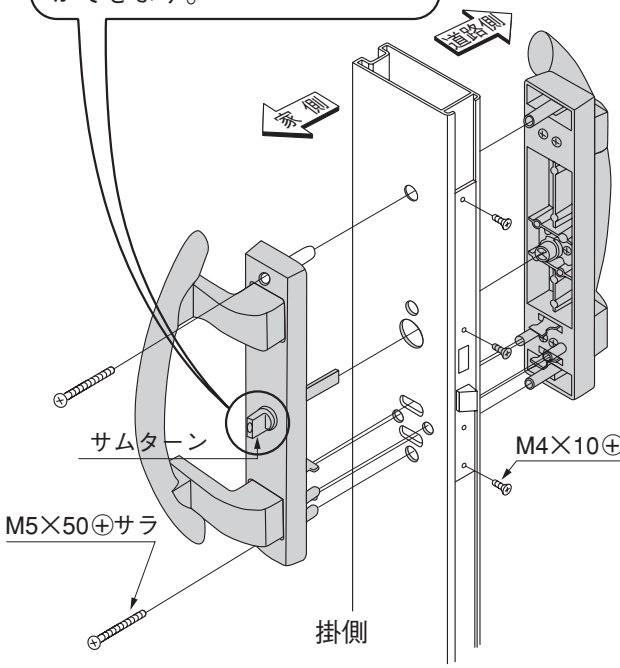
サムターン中央のネジをゆるめると、ツマミを取りはずすことができます。

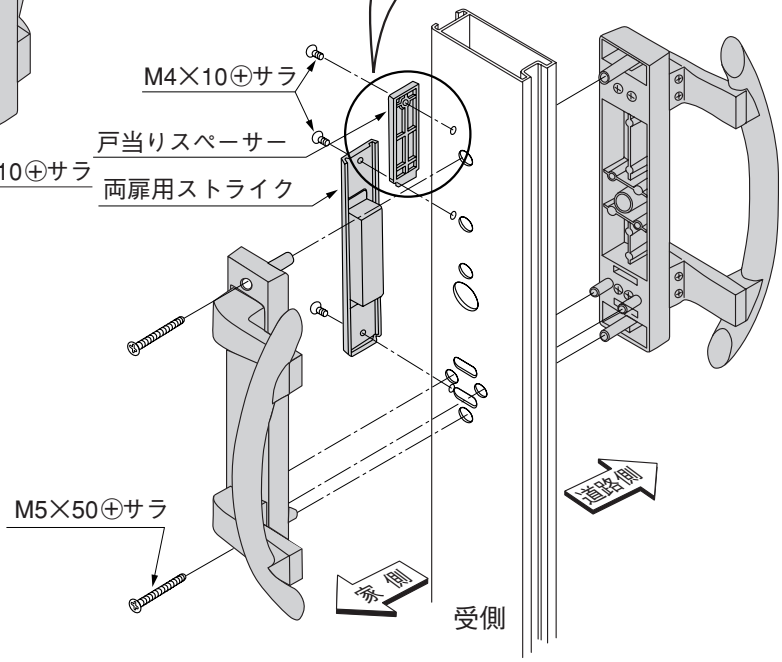
＜注意＞
●内開きまたは外開きによる、掛側・受側の取付け方はかわりません。

戸当りスペーサーの取付け



戸当りスペーサーの下部を、ストライクではさんでください。

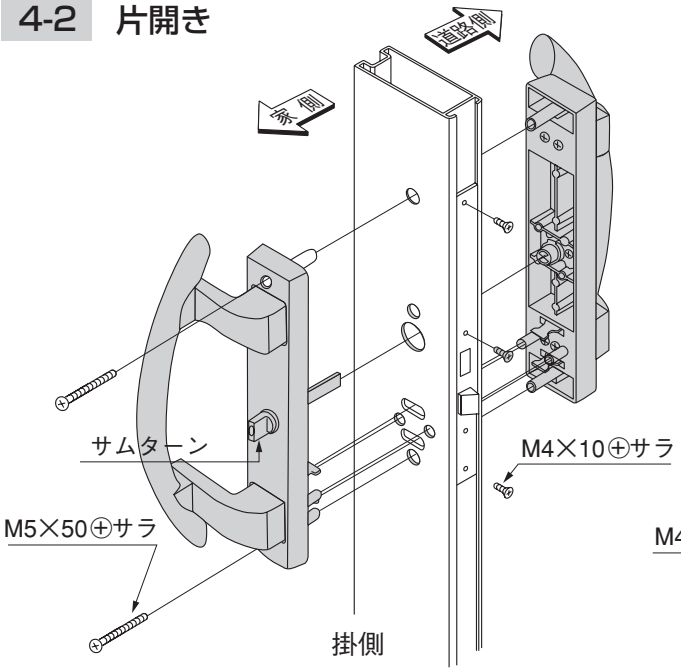




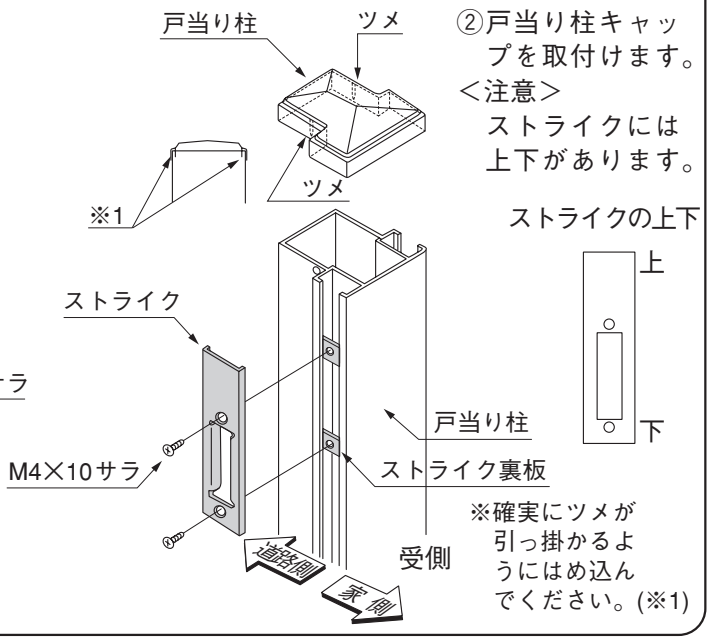
A343_200209A

4. つづき

4-2 片開き



①勝手方向にストライクを裏板ではさみ込んで取付けます。（図は右勝手）



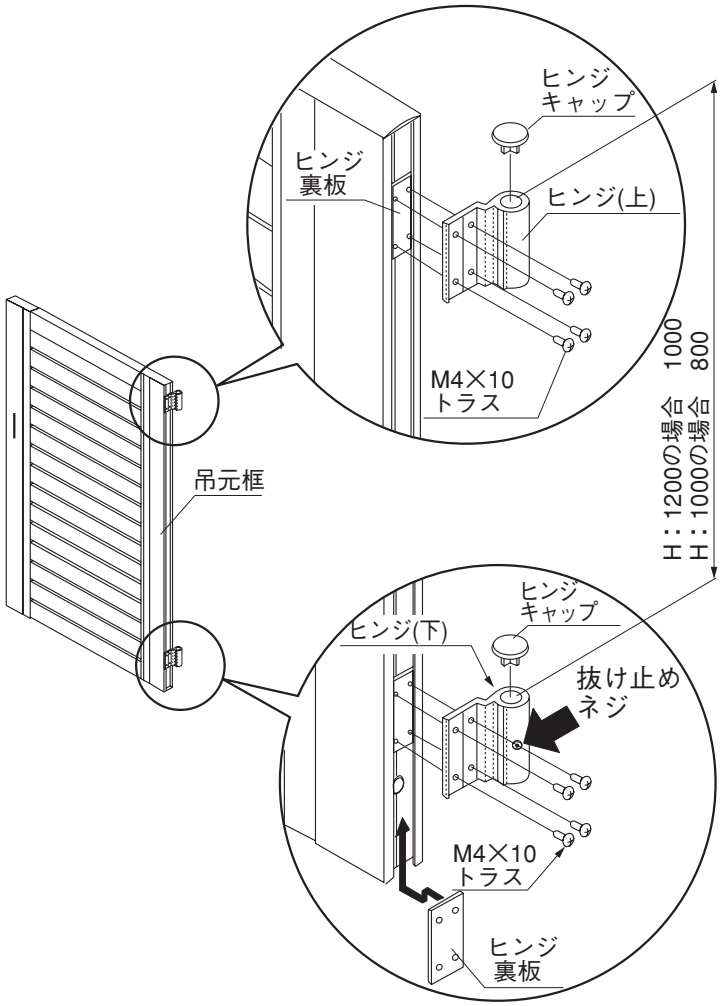
②戸当り柱キャップを取付けます。

＜注意＞
ストライクには上下があります。

ストライクの上下

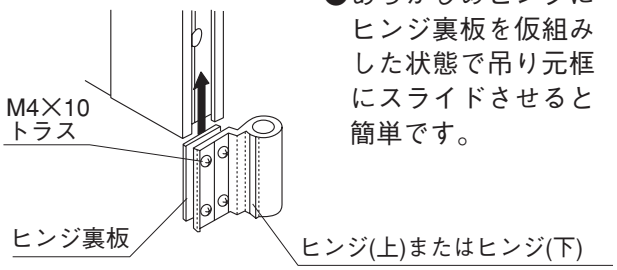
※確実にツメが引っ掛かるようにはめ込んでください。(※1)

5. ヒンジの取付け

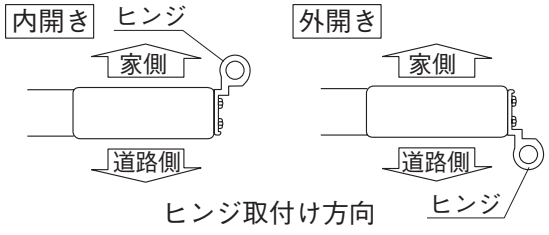


＜注意＞
●ヒンジにはヒンジ(上)とヒンジ(下)の区別があります。
抜け止めネジがついているヒンジがヒンジ(下)です。

＜注意＞
●あらかじめヒンジにヒンジ裏板を仮組みした状態で吊り元框にスライドさせると簡単です。



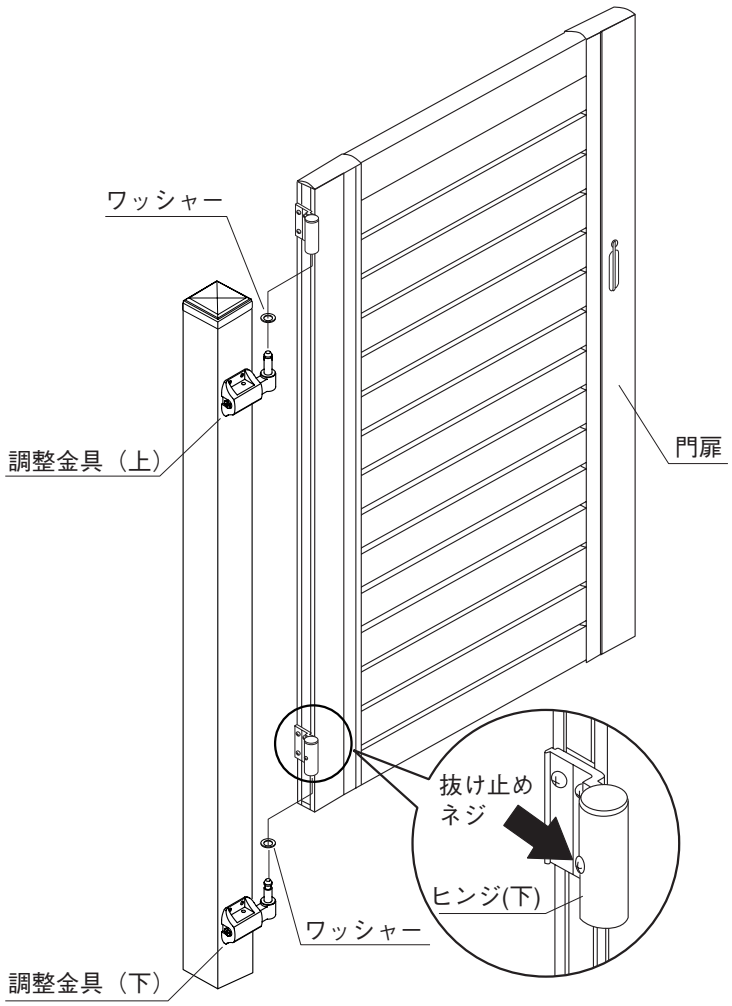
●ヒンジの向きは内開きと外開きで異なります。



ヒンジ取付け方向

A343_200209A

6. 門扉の吊り込み



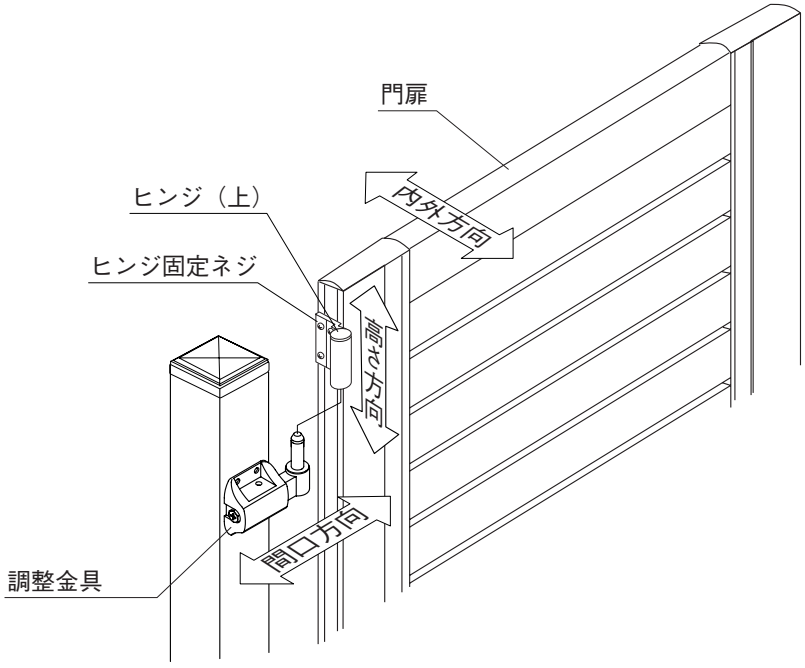
①ヒンジ（下）の抜け止めネジをゆるめてください。

②ワッシャーを調整金具シャフトに取付けてください。

③調整金具シャフトにヒンジ（上）、ヒンジ（下）を差込み門扉を吊り込んでください。

④ヒンジ（下）の抜け止めネジをしめこんでください。

7. 門扉の調整



高さ方向の調整方法

ヒンジ固定ネジをゆるめ、ヒンジをスライドさせて調整します。

＜注意＞

●門扉とG.Lのすきまは90mmが標準です。

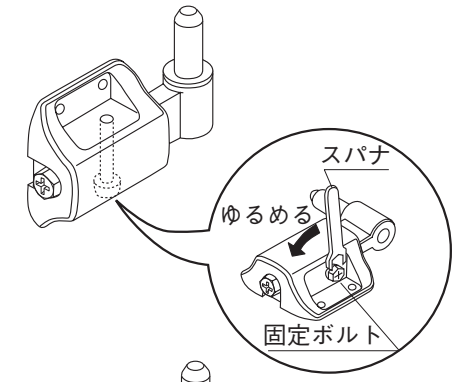
間口方向および内外方向の調整方法

調整金具で調整します。

A343_200209A

7.つづき

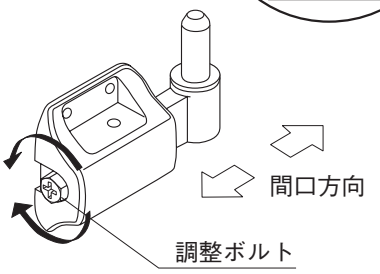
調整金具の調整方法



①固定ボルトをゆるめてください。

＜注意＞

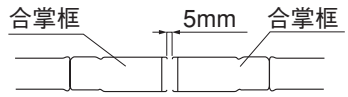
●固定ボルトをしめたまま間口寸法の調整を行うと、固定ボルトが破損します。



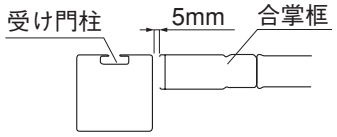
②調整ボルトをまわし、間口寸法を決めてください。

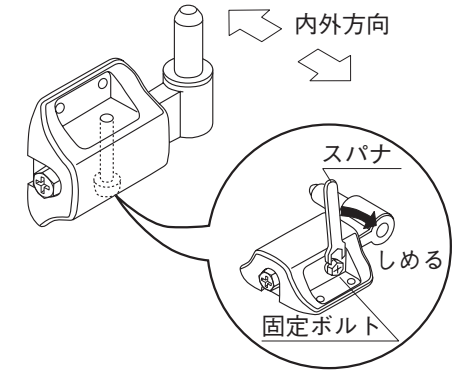
＜注意＞

●両開きの場合、合掌框と合掌框のチリ寸法は5±1mmに調整してください。

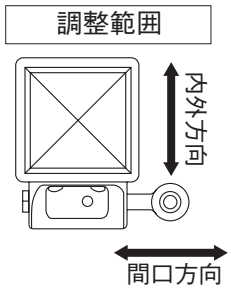


●片開きの場合、合掌框と受け門柱のチリ寸法も5±1mmに調整してください。





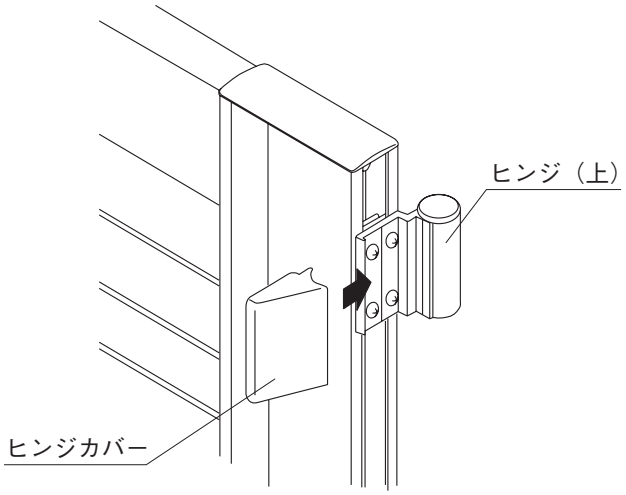
③内外寸法が決まりましたら、必ず固定ボルトをスパナでしめつけてください。



	調整金具O
内外方向	±8.0mm
間口方向	±8.5mm

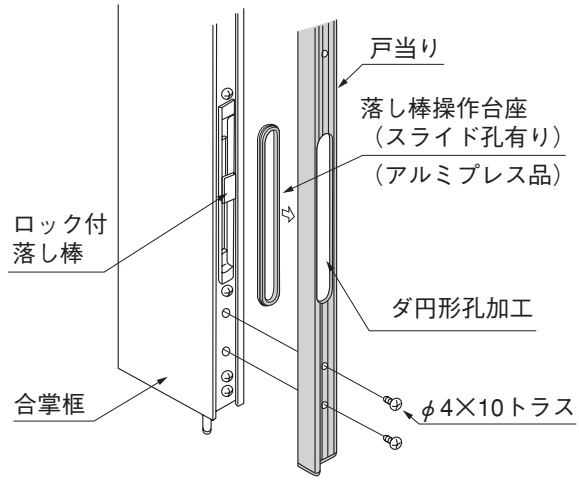
8.ヒンジカバーの取付け

ヒンジ（上）およびヒンジ（下）にヒンジカバーをはめ込んでください。



9.戸当りの取付け

戸当り本体には、掛受・左右の区別はありませんので、向きを合わせて取付けてください。



戸当りに、落し棒操作台座を取付けてから戸当り取付ネジ(φ4×10⊕トラス)で合掌框に取付けてください。

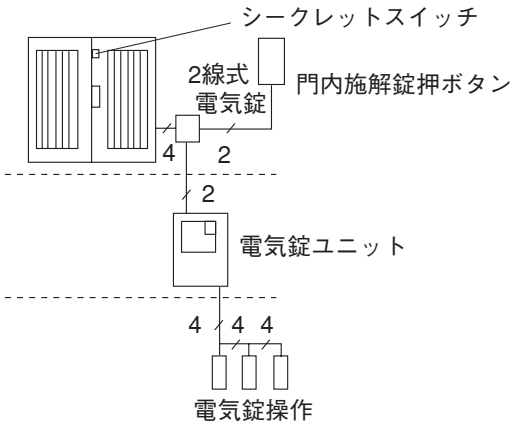
A343_200209A

ここから先は、電気工事店様が行ってください。

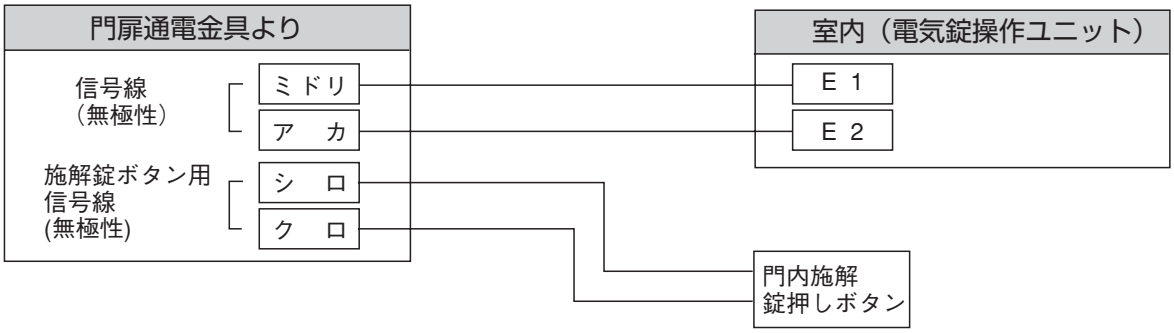
10. 電気錠システム取付および接続方法

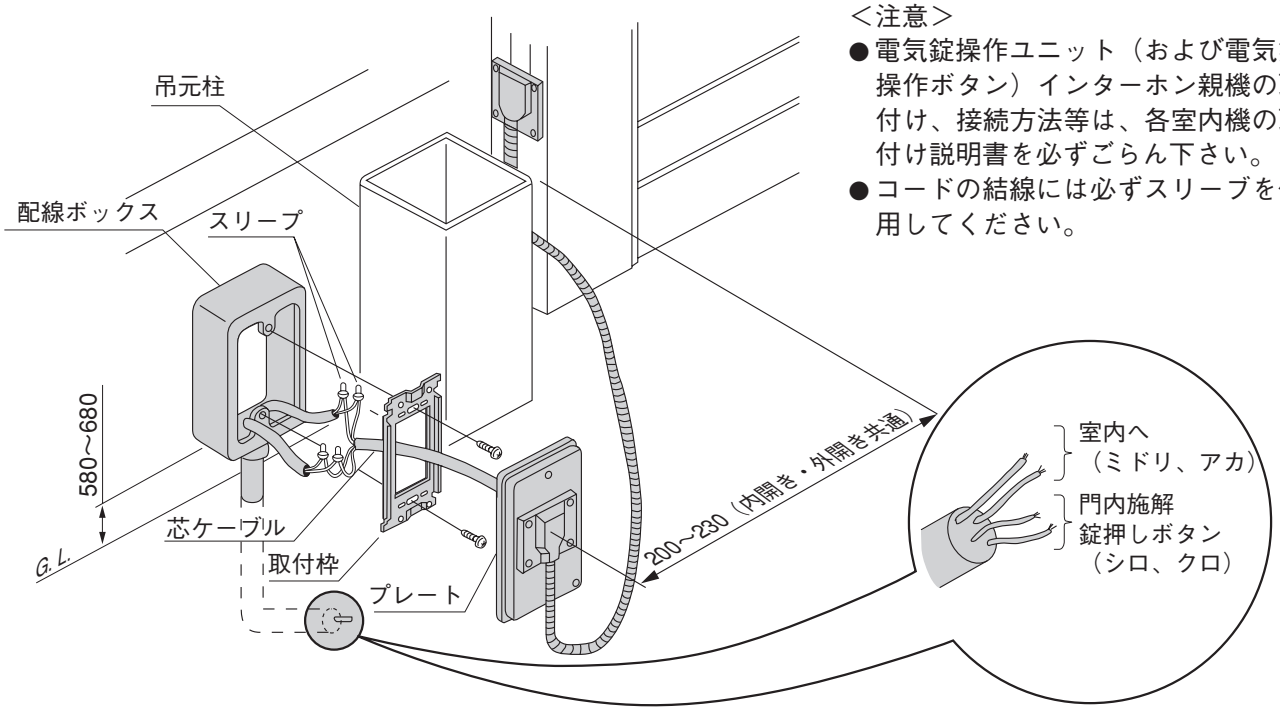
10-1 システム図

門扉に電気錠・シークレットスイッチを組み込んだタイプ



10-2 接続方法



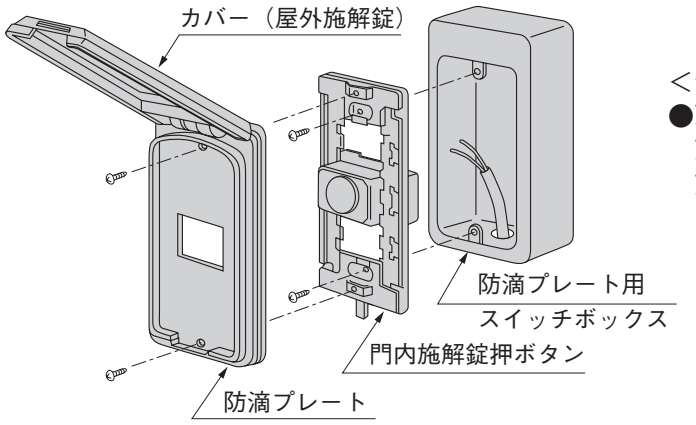


＜注意＞

- 電気錠操作ユニット（および電気錠操作ボタン）インターホン親機の取付け、接続方法等は、各室内機の取付け説明書を必ずごらん下さい。
- コードの結線には必ずスリーブを使用してください。

A343_200209A

11.屋外施解錠スイッチの取付方法



＜注意＞
●取付位置はG.L.より約1400mmにしてください。
取付位置は門の内側の操作しやすい場所に必ず取付けてください。

配線距離

配線間＼使用配線	0.5mm² または0.8mm	0.75mm² または1mm
操作ユニット～シークレットスイッチ	50m	50m
シークレットスイッチ～門内側施解錠ボタン	50m	50m

施行上のご注意

●落雷時の器具破損や、誤動作を防止するために、家屋から通電金具までの配線は架空配線をしないで地中配線をしてください。

●門内施解押ボタンおよび家具から通電金具（4芯）までの配線および、増設する施解錠スイッチへの配線は100Vおよび200Vの配線と、接近して平行または交差させないでください。（平行させる場合には、50cm以上離してください。）また、埋込み配線の部分は100Vおよび200V電源とは別配管にしてください。

●地中電線路の配管には、従来掘り起こすことがない場所を選んでください。

●配管距離が長い場合、また、曲がりが2ヶ所以上になる場合は、ハンドホールを設けてください。

●ハンドホール内で電線の接続は行わないでください。

●配管内に水が侵入しないように、パテなどでふさいでください。

工事店様へ

●仕上げ後、本体についているモルタル等は完全に拭き取ってください。
硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
●みだりに改造、変更は避けて下さい。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

●御使用いただきましてありがとうございました。

取説コード
A343
200209A_1005
200301B_1005